

ジェローム・V. シウロ,
ジェロミー・R. シウロ(著)
稲垣克記(監訳), 伊藤元治, 宮下 智(訳)

肩のスポーツ傷害—診断・治療・リハビリテーション

小柳磨毅
(大阪電気通信大学医療福祉工学部)

整形外科医師である Jerome V. Ciullo と Jeremy R. Ciullo によって執筆された本書は、医師、理学療法士、アスレチックトレーナーなどの幅広い専門家を読者対象としている。スポーツ医学チームにおける職種を越えたコミュニケーションの輪を広げることを発刊の目的とし、「肩損傷の分析と診断」「肩の損傷」「肩のリハビリテーションの原理」の3部から構成されている。

肩損傷の分析と診断(第1部)は、肩関節の解剖、問題点の言及、臨床試験技術、画像診断、関節鏡の章から構成されている。最も重要視したとされる解剖学と運動学に始まり、適切な病歴聴取と多角的な診断の重要性が示されている。豊富なイラストや画像によって、臨床検査と画像診断の実際、関節鏡による病態ごとの診断と外科的手技が詳細に示されている。

肩の損傷(第2部)には、軟部組織の損傷(捻挫と挫傷)、線維化・炎症・組織の消耗、神経血管の損傷、骨折、関節症の章が記されている。これらの章においても、受傷機転や病態、画像診断、治療手技などに実に多くの図説が示され、構造的な破綻と修復が手に取るように理解できる。Overuse injury の病理やマネジメント、見過ごされやすい神経血管損傷の章が設けられている点も特筆に値する。

肩のリハビリテーションの原理(第3部)では、正確な診断と病期治療、スポーツ復帰について述べられている。ここでは特に肩関節疾患に対する病期に応じたリハビリテーションの重要な原理が示されている。段階的に設定された競技的なピッチングプログラムへの復帰(メニュー)の提示は、アスレチックリハビリテーションの進行に有益な情報となる。

本書の全体を通じて、医師以外の職種にもスポーツ傷害肩の病態と治療に対する理解が深まるように配慮されており、刊行の意図がよく伝わってくる。アスリートの診療に限らず、肩関節疾患の治療や予防に関わるすべての職種にとって価値のある良書である。

●B5判・250頁・1色刷
定価 6,090 円(5,800 円+税)
2012 年 三輪書店・刊